

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

5月の活動予定

5月7日(火) 第一例会
5月21日(火) 第二例会

5月3～5日 立山
CL…

5月11・12日(土・日) 長山協 セミナー
針ノ木
5月 11・or12日(土・日)
小日向山
CL…

5月16日(木) 物見朝練開始
毎週木曜日 朝 5:00 より
霊山寺駐車場集合

5月19日(日) 蝶が岳
CL…

5月25or26日(土 or 日) 富士山
CL…

6月の活動予定

6月4日(火) 第一例会
6月18日(火) 第二例会

6月1日(土) 物見の岩清掃

6月9日(日) 谷急山
CL…

6月16日(日) 中西山
CL…

6月29・30日(土・日) 餓鬼・唐沢岳
1泊2日 小屋泊

3・4月の活動報告

3月5日(火) 第一例会

3月27日(木) 第36回定期総会

3月16日(土) 北八ヶ岳 醤油樽の滝

参加者:

唐沢鉦泉と桜平の分岐を桜平方面に進む。ここより先は、ジムニー本領発揮で悪路を進む。赤い橋が現れた所ここが河原木場沢だ。さて醤油樽の滝へはこの沢を詰めれば良いのかな？車は、赤い橋の一段下の脇に駐めた。

アイゼンを着けて沢を高巻きしたり川を渡渉したりして進む。トレース無く結構なラッセルなり。

小さくて狭い滝が現れた。凍っているように見えたけれど氷は意外に薄く簡単に崩れ落ちた。アイゼンが水に浸かる～慌てて雪面を蹴り込むがそこも崩れていく両足が水に浸かってしまう～！次の瞬間右壁のスタンスにアイゼンが僅かに引っかかった、すかさず灌木にアックスを打ち込む、体をずるずると引き上げた。助かった～笑、靴水没をなんとか免れた汗。しばらく沢を詰めると再び難所が現れた。ベルグラ状なのが一目でわかる。アックスはほぼ使えない。右側の岩壁の細かいスタンスを拾って慎重に一步立ち上がる。左足は、ベルグラにそっとアイゼンの先を乗せバランスをとる。アックスを乗越の先の雪面に打ち込む、頼む効いてくれ～体をあげる、ふ～なんてシビアな事をしているのか。でも気持ちにはまだ余裕があった。なぜなら仮に落ちててもぶざまに1メートルほどずり落ちるだけだからだ。

難所を越えると左斜面に階段が現れた、なんだ遊歩道でここまで来れたのね～女2人で大笑い。もう醤油樽の滝は目の前だった。うひょ～かっちょえ～

まず、さゆりちゃんがリードした。45メートル程で終了点があるようだ。私が登り、終了点を使って懸垂下降。

今度は、私がリード、途中V字スレッドでスリングが残置されていた。ここから懸垂下降したのかな、ランニングビレーに使わせてもらう。アイスクリューは、6本使った。7本持つて登れば安心かな。上部は傾斜が落ち雪が着いて凍り方は今ひとつ。

登って降りてを繰り返しそろそろ夕方になるので終了。

下山は遊歩道を忠実に辿る。快適安全な道があったではないか笑。夏沢鉦泉に続く登山道に飛び出すと醤油樽の滝入口の看板があった！なんだなんだ次回は、ここを歩くことにしよう～忘れていなければ。

長野 4:30-川原木場沢の赤い橋 7:00-醤油樽の滝取付き
9:40-撤収 15:00-登山道合流遊歩道入口 15:45-赤い橋
15:50

第36回定期総会 2019年3月27日

出席者 11名、委任状 8名にて総会成立。
今年度の会計報告、来年度の予算が承認されました。

4月7日(金) 創立記念登山 飯綱山

参加者:(お試し山行)

天気:晴

天候不順の合間の晴れた一日、爽やかな青年の参加を得て足取りも軽く一の鳥居を出発。同行して下さった“ ”さんは 22歳！ WBN現会員の我々は、それぞれ父母、祖母の心で歩いた。

例年より積雪は少なく、駒つなぎからの冬道は雪が溶け笹が出て凍土となり歩きにくい。硯岩の下でアイゼンを着ける。飯綱神社では御神酒を供え、これからの登山の無事を祈願した。

東側斜面で、会長からスノーバーの打ち込み方、ビレイの取り方の指導を受け、2人1組になってスタンディングアックスビレイでの確保、滑落停止の訓練を行った。雪質が悪く滑らない上ブッシュが出ている状態であった。その後、下山途中、中社への分岐あたりでビーコンの練習を行った。「雪崩に遭遇し、巻き込まれた同行者を救助して欲しい」との想定で、横澤さんからの一報に、ビーコンを使って埋没の位置を特定し、プローブを刺して確認、扇状に雪を掘り発見した。一通りの練習をしてみて、ビーコンの操作、プローブを刺した時の感触等繰り返し練習が必要な事を実感した。駒つなぎ迄下山した際、鹿島槍で3日間、雪と岩と格闘していた神保敦さんの無事下山を知り安堵した。



長野(ルーフ橋) 6:00—大鳥居登山口 6:45—駒つなぎの場 7:55—飯綱神社(訓練) 9:30/11:40—中社分岐(訓練) 11:50—駒つなぎの場 12:55—登山口 13:50

4月13日(日) 唐松岳

天気:快晴

参加者:

8時始発の八方尾根ゴンドラ乗場にはすでに場所取りのザック、スキーが数十個ある。昨年同時期の唐松岳山行もこんな感じであった。新聞によると今年の積雪は3~4月に降雪があり八方池山荘周辺で3mと例年の1mより多い積雪との事。昨年の山荘周辺は地面が出ているところもあったと記憶しているが、今年はまだ一面雪に覆われている。

天気は快晴。気温もそれほど低くはなく-3° くらいかな。バックカントリーの人などで混雑。冬道にはすでに先行している人の道がつながっている。八方池までくると正面に不帰嶮・唐松山頂がくっきり。白馬三山、五竜、鹿島槍も申し分ない。陽ざし強くほぼ無風で最高の条件。人が多くグループで歩いていても隙間があると割り込んでくるので、なかなかまとまって歩けない。下りのリフト最終時刻が15:40なので、今日は冬道を上り詰めたピークまでとし、そこで剣岳、五竜岳などを見ながら昼食をとり、折り返す。下り始めると斜面の雷鳥を発見。大勢の人ばかりとなりました。雷鳥はトラバースしても雪が崩れない。しばらく下りダケカンバの森の場所まで来るとまた雷鳥発見。木の蕾を食べていました。



冬毛の雷鳥を2回も見られてラッキー。光のあたり方により、午前中とは違い濃淡がクッキリとした山並みを写真に納めながら下山。日焼けで顔がヒリヒリでした。



6:00 長野発 8:00 ゴンドラ発 8:50 八方池山荘発 9:45 八方池 11:00 丸山ケルン 12:15 ピーク着 12:45 ピーク発 15:00 八方池山荘着

3月19日(火) 飯縄山 ユマール練習

参加者:

10月のメラピークに向けて、雪のあるうちにユマールの練習をしたいと、三人で飯縄山に行ってきました。

ネパールから帰ったばかりのさんから、前日、写真や地図を見せて頂きながらトレッキングの話を伺い、憧れは募るばかり。また、さんが、チベットのシュエラブカンリに参加された方から、ユマールを借りてきて下さり、ユマールのロープの付け方を見ることが出来、自分の付け方との違いも分かり、慣れないユマールが少し分かって来ました。

19日は、風もなく、穏やかな登山日和。平日なので、奥の南登山口Pも空いているだろうと行くと、既に10台近く停まっっていて満車に近い状態。2日前に降った雪が積もっていて、駐車場からアイゼンを着けて登る。駒つなぎの場からの急斜面も、一部土が出ていた箇所もあったが、適度な雪で歩き易く、山頂まで、下山する5人とすれ違いながら、景色を楽しみながら気持ちよく登る。

山頂でワカン装着。霊仙寺山を往復して、途中でユマールの練習をする予定だったが、思った以上に雪が多く、下るのに、一歩下ると雪がドカッと落ち、ミニ雪崩状態。往復には時間がかかり過ぎると見込んで、途中の下り急斜面にロープを張り、ユマールの練習を始め

る。50メートルを、2回ずつ、ユマールを使って登った。急斜面の雪の大きな段差も、ユマールを使うと楽に登る事が出来た。ただ、ロープに雪が付いて、ユマールにその雪が入り込み、凍り付いた状態になると、食い込まず、滑ってしまい、使えない。凍った雪を落とし、食い込む事を確認して、登る。メラピークでは、頂上直下、6,000m位で使うので、雪まみれの中で使う事はないだろう。

ネットで、ユマールを使っていて滑落した時、ロープがズタズタに切り裂かれた写真が載っていたが、普通に使っている、ユマールがロープに食い込むので、ロープは傷むと実感する。付け替えもスムーズに出来、次に条件の違う所でもやってみようと、山頂に戻り、南斜面にロープを張り、そこで練習。

今度は、雪が付かず、ユマールを使いながら快適に登れる。ここでも、2回ずつ練習した。

「本番では、高所でボーっとしているから考えなくても出来るようにしておきたいね」「ユマール使う所まで行かれるかなあ？」等と、期待や不安を口にしながら、もう他にだれもいない飯縄山で「気持ちいいね～」と気分よく、練習して来た。

3/19 (火) ループ橋 7:00=南登山口 P7:20/7:50-
駒つなぎ 8:55-飯縄山 10:15/10:20-練習 10:30~
11:50-飯縄山 12:00/12:25-練習 12:40~13:20-
南登山口 P14:50=ループ橋

